

手ぬぐいで製作した人形浴衣の嗜好傾向

孫 珠熙（孫 珠熙）¹・中嶋 史央里²Preference Trends for Doll Yukata Made with *Tenugui* Japanese Towels¹Ju-hee SOHN, ²Shiori NAKASHIMA

[Abstract]

In this study, we presented doll yukata made with *tenugui* Japanese towels to the subjects and assessed their preference trends. Items presented to the subjects were 18 doll yukata, each with a different pattern and color. The number of samples was 346 in total, with 245 female university students and their 101 male counterparts.

We used IBM SPSS and a text mining software for the analysis. According to the results, the main preference trends that the subjects had on doll yukata were “cute” (45.1%), “beautiful” (12.4%), “patterns” (11.6%), and “color” (10.1%). With regard to the female subjects, 54.3% of them chose “cute” as an answer. The comments on doll yukata were positive overall, and many subjects said they themselves felt like wearing yukata. We also classified doll yukata, and visualized doll yukata that female subjects liked. Differences were seen in preference trends for doll yukata between males and females.

キーワード：手ぬぐい、人形浴衣、イメージ、嗜好傾向、視覚評価

Keywords： *tenugui* Japanese towels, doll yukata, image, preference trends, visual evaluation

I 緒言

手拭（てぬぐい）は、浴用・洗顔などに用いる小幅木綿布のこと。服飾的には被物（かぶりもの）として用いられることが多い。元来手拭は手を拭うものであったが、浴用や洗顔という本来の目的はタオルにその座をゆずった¹⁾。現代では商店や花柳界・芸能界の配り物や、名披露目（なびろめ）の撒手拭（まきてぬぐい）などに多く使われる（服飾大百科事典上巻）。近年市販している手ぬぐい1本のサイズは幅35cm×90cm長さが一般的である。「神田川」の歌の歌詞に「赤い手拭いマフラーにして二人で行った横丁の風呂屋・・・」があるように、服飾的にはかぶりもの用途のマフラーにも使った。

先行研究事例については、下家²⁾によると、手ぬぐいはスカーフ的な使い方をしてきた長方形の布が、芸術的にも優れたものとなるまでには、おしゃ

れに目覚めた女たちとの闘いと工夫の歴史があったと述べている。また手ぬぐい布を生かす側面では杉野³⁾、戸谷⁴⁾の手ぬぐい帽子、手ぬぐい1枚でできる幼児のハーフパンツ⁵⁾、孫・中嶋⁶⁾の手ぬぐいで製作したペットボトルサイズの人形浴衣などがある。

和文化と関連のある印象評価に関するこれまでの研究では浴衣の評価条件がもたらす印象評価⁷⁾がある。この報告では温泉宿用の浴衣サンプル6種について、それぞれ畳んだ状態・トルソに着せた状態の印象評価を行ったが、両方とも11対の形容語中「女らしい－男らしい」、「若く見える－老けて見える」、「派手な－地味な」の項目の平均値のギャップが最も大きいことが示唆された。

温泉宿用の浴衣は旅館の制服（ユニフォーム）で、貸し出しをしているため、研究実験用に写真撮影は可能であるが、実物ゆかたを入手するには製作するか、旅館用途に市販されているサンプルを購入する方法がある。新宿伊勢丹百貨店の場合は、市販の温泉宿用の浴衣はお土産用（海外旅行時のホームステ

¹ 富山大学人間発達科学部

² 富山大学人間発達科学部環境社会デザインコース(卒業)

イ先のお土産)に商品開発をしている。

本研究では「手ぬぐい」布で製作したペットボトルサイズの人形浴衣を提示し、どのような人形浴衣が好まれるのかを視覚評価により測定する。また若者に好まれる手ぬぐい人形浴衣の特徴を明らかにする。さらに中・高の家庭科教員免許取得の必修科目である「被服学実習」系の科目に活かす可能性を、実践研究として提案したい。

II 研究方法

2-1. 被験者と調査時期

被験者は筆者の講義を受講している男子学生 101 名と女子学生 245 名で、有効標本数は計 346 である。調査時期は 2017 年 7 月中旬である。「講義名」(調査対象者)は「教養科目:生活の科学」(262 名),「選択科目:アメニティ科学」(82 名),「選択科目:衣環境論」(20 名),「選択科目:衣環境デザイン実習」(10 名)で合計 374 名を対象とした。また、論文公表に関する倫理的配慮に従い、無記名で調査を行った。

2-2. 視覚評価に用いた人形浴衣の製作

試料として手ぬぐいでペットボトルサイズのミニ浴衣(人形浴衣)を製作した(2017 年 7 月上旬, 学生アルバイト依頼)。色や柄が異なるよう、計 18 種サンプルを製作した(図 1)。京都市で市販の高級「絵手ぬぐい」と和柄を専門にするテキスタイル会社に和柄の生地を購入した。価格は絵手ぬぐい布 1 枚で 1000 円から 1700 円の絵柄を購入した。手ぬぐいサイズは縦 90cm×横 35cm である。一着の人形浴衣の製作時間は 2 時間程度である。浴衣の帯は全体の色柄に影響のないように紺色で統一した。手ぬぐい布の色柄の選定においては、これまでの温泉浴衣に関する研究成果^{8~13)}を参考した。

2-3. 質問紙内容

- 1) 「サンプルを見てどのような印象を持たれましたか。感想をお聞かせください。」〈自由記述〉人形浴衣 18 サンプル(図 1)を見てどのような印象を持ったのか、感想を自由記述で答えてもらった。
- 2) 「好みの浴衣を自分用, 異性用それぞれ 2~4 つ選んでください。」〈複数回答〉人形浴衣 18 サンプルから自身が着ることを想定して好みの浴衣を選ん

でもらった。

- 3) 「温泉用として自身が着たい浴衣をそれぞれ 2~4 つ選んでください。」〈複数回答〉

人形浴衣 18 サンプルから温泉用として自身が着たい浴衣をそれぞれ選んでもらった。

2-4. 分析方法

1) 自由記述に関しては分析には IBM SPSS Text Analytics for Surveys 4.0.1 を用いた。テキストマイニングを用い、自由記述から単語を抽出してカテゴリ化し、カテゴリ間の関連性をカテゴリ Web 図により可視化した。データの集計・分析には IBM SPSS 23.0J を用いた。

2) 複数選択 18 変数に関するデータは選択を 1, 非選択を 0 とする 2 値データ(ゼロ・イチ)に置き換えた。そして多次元尺度法^{14~17)}を用いて 2 次元平面上に距離(=類似)のデータから、各浴衣の座標をポジショニングマップで可視化し、横軸と縦軸の次元の解析を試みながら浴衣間の類似性を検討した。複数回答(無制限複数選択形式)について、豊田ら¹⁸⁾は消費者心理学の視点から適用例を示したが、提案手法は心理学の幅広い領域において適応可能であることを示唆した。

- 3) 好みの浴衣における男女の因子分析, クラスタ分析を行った。

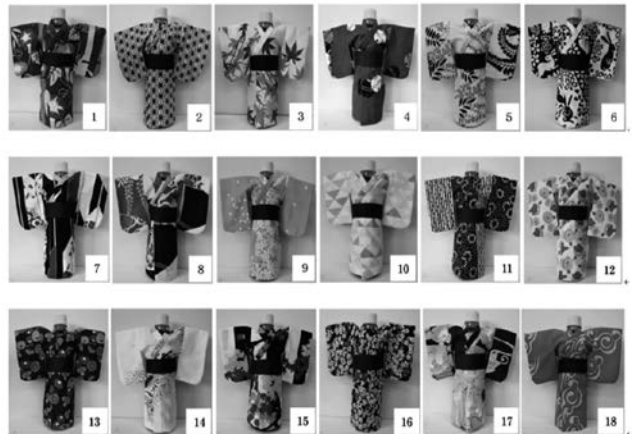


図 1 浴衣人形 18 サンプル

III 結果及び考察

3-1. 自由記述による印象

テキストマイニングにより自由記述から抽出した

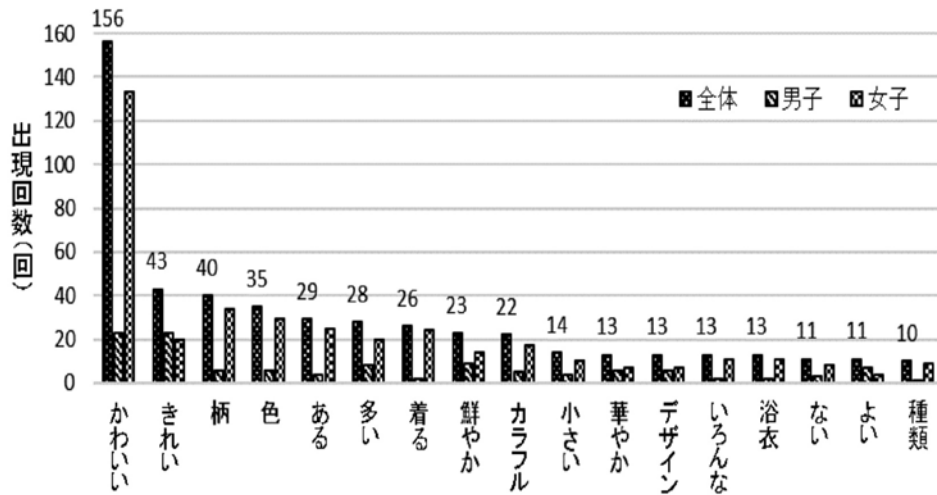


図2 人形浴衣の印象における出現回数（自由記述）

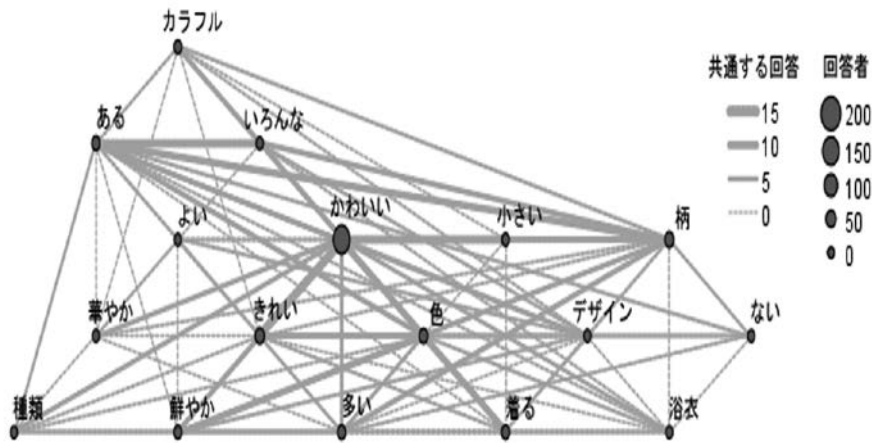


図3 人形浴衣 18 着サンプルを見て抱いた印象（WEB カテゴリ）

表1 人形浴衣 18 着サンプルを見て抱いた印象のクロス集計

	いろんな	かわいい	柄	きれい	ある	多い	着る	浴衣	種類	色	カラフル	鮮やか	華やか	ない	よい	小さい	デザイン	合計
いろんな	13	6	6	0	11	0	0	2	1	2	3	0	0	0	0	0	3	13
かわいい	6	156	8	15	7	6	13	4	5	11	7	7	5	0	3	11	3	156
柄	6	8	40	2	12	6	2	1	0	8	3	0	2	4	0	3	2	40
きれい	0	15	2	43	2	3	3	1	2	9	1	5	1	0	0	0	1	43
ある	11	7	12	2	29	1	1	2	4	6	3	1	1	3	0	0	5	29
多い	0	6	6	3	1	28	3	2	4	6	0	1	1	2	1	0	1	28
着る	0	13	2	3	1	3	26	4	0	4	0	2	0	0	0	1	2	26
浴衣	2	4	1	1	2	2	4	13	0	3	0	0	0	1	0	0	1	13
種類	1	5	0	2	4	4	0	0	10	2	0	1	0	0	0	0	0	10
色	2	11	8	9	6	6	4	3	2	35	0	13	0	3	0	1	4	35
カラフル	3	7	3	1	3	0	0	0	0	0	22	0	1	0	0	1	2	22
鮮やか	0	7	0	5	1	1	2	0	1	13	0	23	0	0	1	0	3	23
華やか	0	5	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	13	0	1	0	0	13
ない	0	0	4	0	3	2	0	1	0	3	0	0	0	11	0	0	2	11
よい	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	11	1	3	11
小さい	0	11	3	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	14	0	14
デザイン	3	3	2	1	5	1	2	1	0	4	2	3	0	2	3	0	13	13
合計	13	156	40	43	29	28	26	13	10	35	22	23	13	11	11	14	13	287

単語をカテゴリ化し、その出現回数を図2に示した。グラフは出現回数10回以上の単語を示し、棒グラフ上部の数値は全体での出現回数を示している。最も出現回数が多かった単語から順に「かわいい156回(45.1%)」、「きれい43回(12.4%)」、「柄40回(11.6%)」、「色35回(10.1%)」であった。「かわいい」の多くは女子の回答であり、女子だけで133回(54.3%)であった。全体的にポジティブな意見が多く、浴衣を着たくなかったという意見も見られたため、和文化体験や試料として有効であったといえる。

カテゴリ間の関連性をWeb図に可視化した(図3)。丸の大きさはその単語の出現回数を示し、線の太さは線で結ばれた単語同士が同時に回答された回数を示している。表1は多重回答のクロス集計を行った結果である(出現10回以上)。「かわいい」は「きれい」(15回)と同時に回答され、「かわいい」要因として、「色」(11回)や「小さい」(11回)という回答が同時に見られた。また、「色」に対して「鮮やか」(13回)という回答が同時に見られた。

3-2. 好みの人形浴衣

1) 自分用に好みの浴衣

男子が好む浴衣に選ばれた上位3着は、図4の左から順にs11(63.8%)、s6(53.2%)、s14(30.9%)となった。男子は紺や白のシンプルな配色の浴衣を好むことがわかる。

女子が好む浴衣に選ばれた上位3着は、図5の左から順にs12(42.9%)、s5(34.2%)、s10(24.6%)



図4 男子好みの浴衣 (男子 N=101)



図5 女子好みの浴衣 (女子 N=245)

となった。上位2着は女性らしさを感じさせ、赤やピンクを取り入れ花柄の浴衣が好まれるといえる。

2) 異性用に好みの浴衣

男子が女子に着てほしい浴衣に選ばれた上位3着は、図6の左から順にs5(45.5%)、s12(31.3%)、s9(27.3%)となった。女子が好む浴衣の結果と比較すると、上位2着の浴衣(s5、s12)は順位の違いがあるものの一致した。女性らしい赤・ピンクの色味があり、花柄の浴衣が男子にも好まれた。

女子が男子に着てほしい浴衣に選ばれた上位3着は、図7の左から順にs11(72.3%)、s14(53.6%)、s6(37.9%)となった。男子が好む浴衣の結果と比較すると、この3着の浴衣は順位の違いがあるものの一致した。



図6 女子に着てほしい浴衣 (男子 N=101)



図7 男子に着てほしい浴衣 (女子 N=245)

3-3. 好みの人形浴衣の可視化 (男子)

好みの浴衣のポジショニングマップによる位置関係を調べるために、多次元尺度法を用いて2次元平面上に距離(=類似)のデータから、各浴衣の座標を求めた。その結果はポジショニングマップで可視化され、4つのグループで似た特徴を持つ浴衣が配置される。

男子の好みの浴衣の各座標は図8のようになった。2次元の縦軸は「白・暖色—寒色」、横軸は「単色—多色」と解釈した。よって、右上のIグループは「白・暖色+多色」、右下のIIグループは「寒色+多色」、左下のIIIグループは「寒色+単色」、左上のIVグループは「白・暖色+単色」となる。

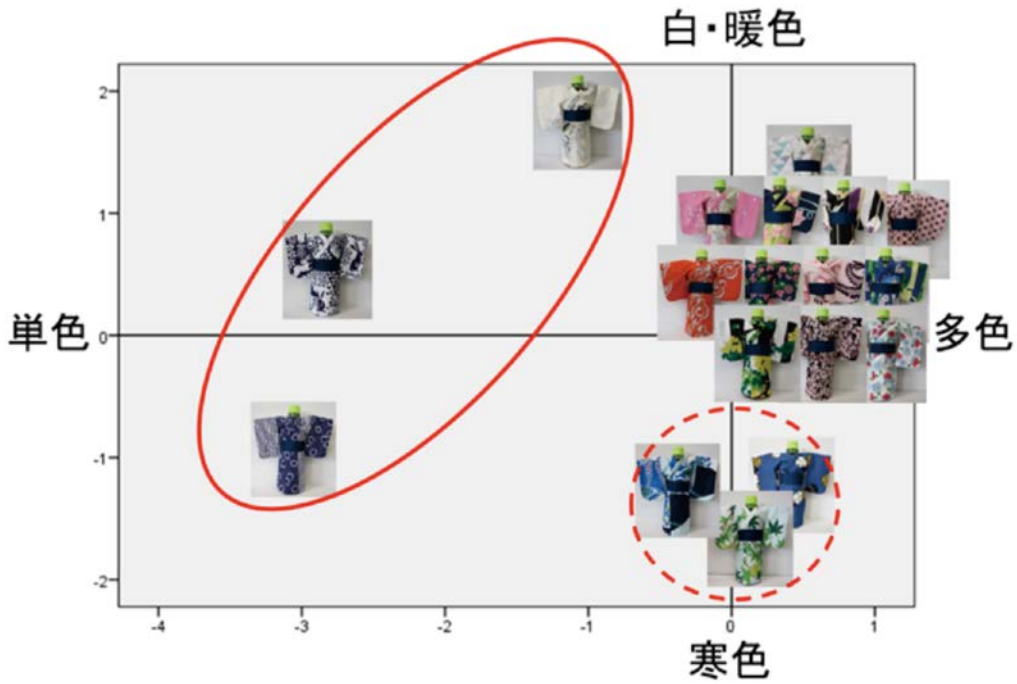


図8 男子の好みの浴衣ポジショニングマップ (N=101)

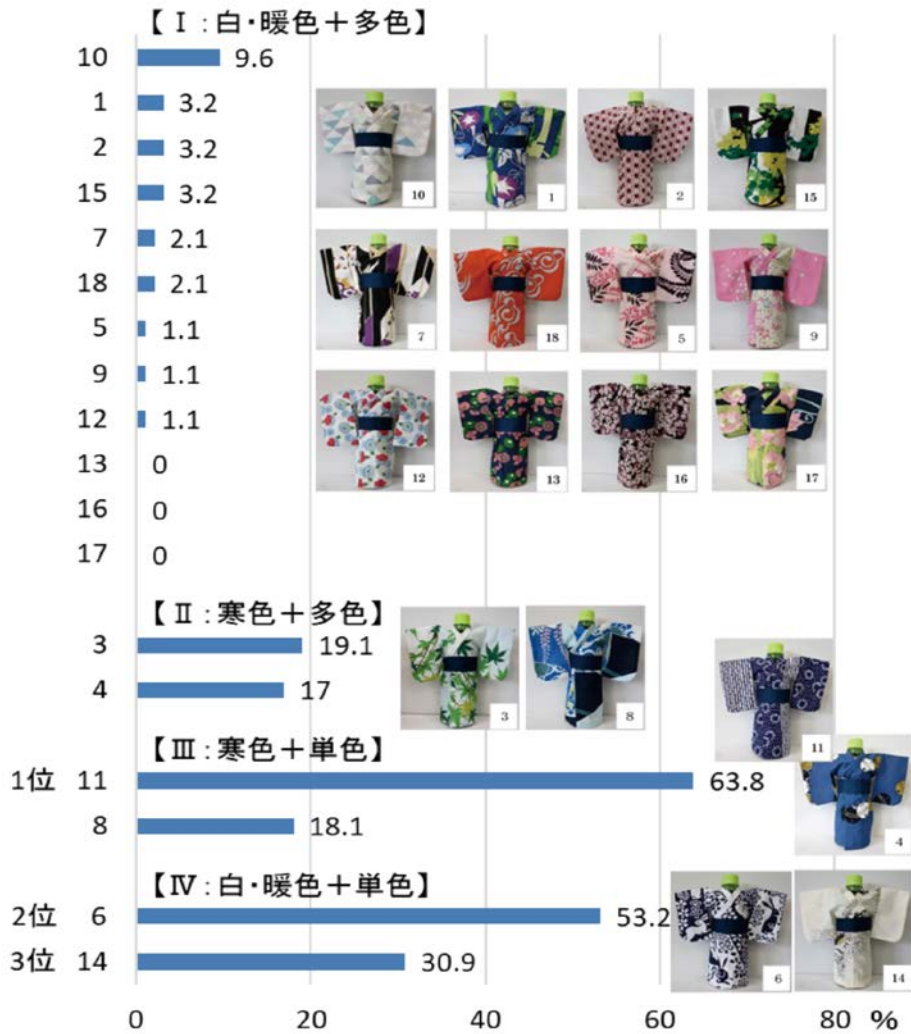


図9 男子の好みの浴衣グループ別割合 (N=101)

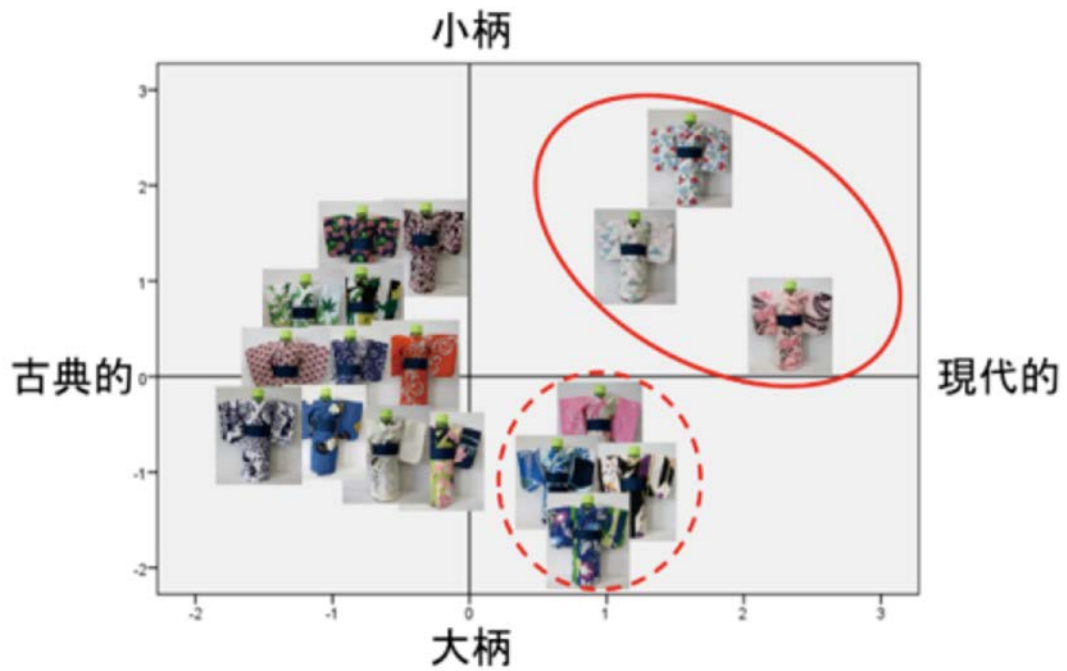


図 10 女子の好みの浴衣ポジショニングマップ (N=245)

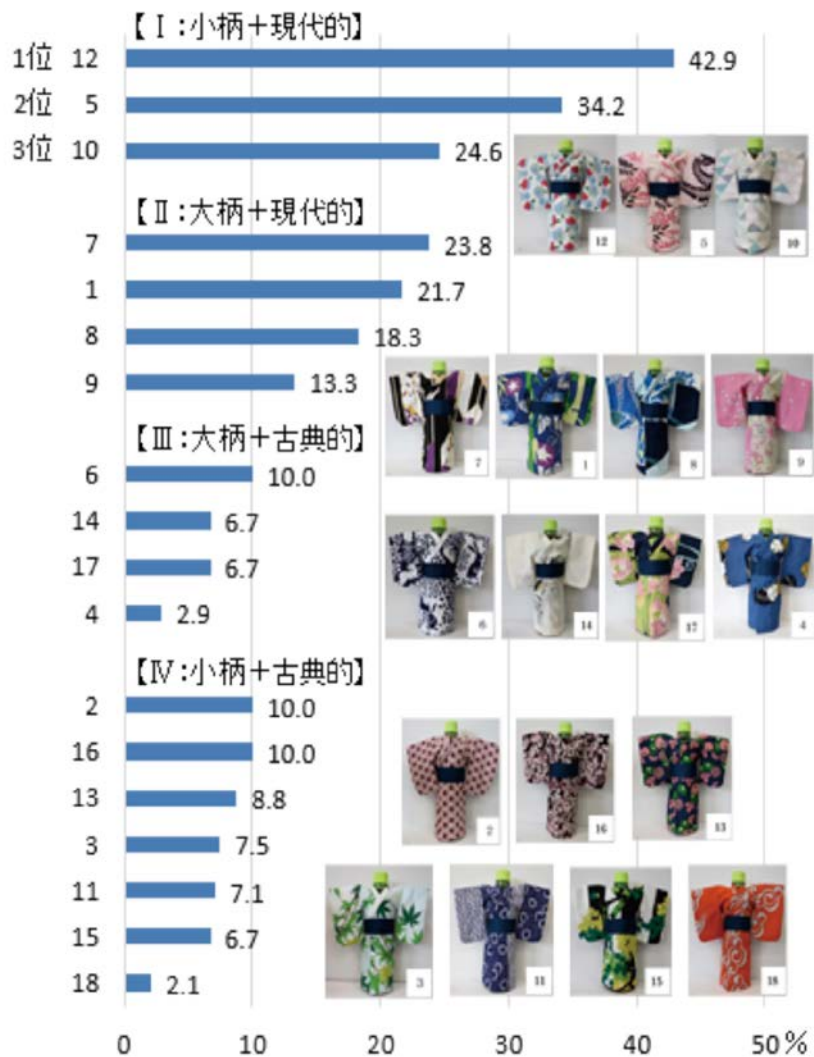


図 11 女子の好みの浴衣グループ別割合 (N=245)

図9には4つのグループごとの割合を示した。左側の数字はサンプル番号である。図8に実線で丸く囲まれた浴衣は、人形浴衣18サンプルの中で男子に最も好まれた浴衣上位3着を示している。上位3着の浴衣がポジショニングマップ上でⅢとⅣのグループに位置していることから、男子は単色または二色使いの浴衣を好む傾向があると分かる。点線で囲まれた3着は上位3着の次に選ばれた浴衣(4～6位)で、寒色の浴衣も好まれることがいえる。一方で、Ⅰグループの「白・暖色+多色」の浴衣は図9から明らかであるように、男子にあまり好まれないことがわかった。つまり、男子は白や紺、寒色といった地色を好み、色使いの少ないシンプルな浴衣を好む傾向がある。

3-4. 好みの人形浴衣の可視化(女子)

女子の好みの浴衣の各座標は図10のようになった。2次元の縦軸は「小柄-大柄」、横軸は「古典的-現代的」と解釈した。よって、右上のⅠグループは「小柄+現代的」、右下のⅡグループは「大柄+現代的」、左下のⅢグループは「大柄+古典的」、左上のⅣグループは「小柄+古典的」となる。図11には4つのグループごとの割合を示した。左側の数字はサンプル番号である。図10に実線で丸く囲まれた浴衣は、人形浴衣18サンプルの中で女子に最も好まれた浴衣上位3着を示している。上位3着の浴衣がⅠグループに位置していることから、女子は小柄で現代的な浴衣を好む傾向があると分かる。点線で囲まれた4着は上位3着の次に選ばれた浴衣で、Ⅱグループ「大柄+現代的」も好まれるといえる。一方で図11からも明らかであるように、Ⅲグループ「大柄+古典的」、Ⅳグループ「小柄+古典的」に配置された浴衣が好みだと選んだ人はそれぞれ10%以下であり、古典的な浴衣はあまり好まれないといえる。

IV 結 言

- (1) 人形浴衣の印象に、最も出現回数が多かった単語から順に「かわいい156回(45.1%)」、「きれい43回(12.4%)」、「柄40回(11.6%)」、「色35回(10.1%)」であった。
- (2) 男子が女子に着てほしい人形浴衣に選ばれた上位3着は、女子が好む浴衣の結果と比較すると、

上位2着の浴衣は順位の違いがあるものの一致した。女性らしい赤・ピンクの色味があり、花柄の浴衣が男子にも好まれた。女子が男子に着てほしい浴衣に選ばれた上位3着は、男子が好む浴衣の結果と比較すると、この3着の浴衣は順位の違いがあるものの一致した。

- (3) 男子は白や紺、寒色といった地色を好み、色使いの少ないシンプルな人形浴衣を好む傾向がある。男子の好みの人形浴衣のポジショニングマップを2次元でみると、縦軸は「白・暖色-寒色」、横軸は「単色-多色」と解釈した。
- (4) 女子は小柄で現代的な人形浴衣を好む傾向があると分かる。女子好みの人形浴衣のポジショニングマップを2次元でみると、縦軸は「小柄-大柄」、横軸は「古典的-現代的」と解釈した。「小柄で現代的」な浴衣が上位3着で、人気と言える。一方で古典的な浴衣はあまり好まれないことがわかる。ここで「現代的」の意味は「和モダンな印象」の色・柄を意味する。あくまでも和のテイストを感じさせるモダンな手ぬぐいの柄が人気であった。この傾向は手ぬぐい以外の温泉用途の浴衣の好みでも同様な傾向があった。都会的で和のテイストのあるおしゃれな色柄が好まれることが示唆された。

以上、本研究では手ぬぐいで製作したペットボトルサイズの人形浴衣を提示し、人形浴衣の嗜好傾向について視覚評価により評定を行った。また、「手ぬぐい」布を材料に、人形浴衣を製作していることや自由記述の回答では、参加した学生が人形浴衣製作に興味を持ち、和文化体験となるとポジティブな感想を寄せたことから、中・高の家庭科教員免許取得の必修科目である「被服構成学実習」系の科目に、和文化体験の一助として人形浴衣製作が寄与できる可能性が本研究では示された。

[謝辞／Acknowledgement]

本研究は日本学術振興会(JSPS) 科研費15K00749の補助を受けたものです。(研究代表者:孫珠熙)。Acknowledgement This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number JP15K00749.

引用文献

- 1) 大沼 淳：服飾大百科事典上巻，服装文化協議会，文化出版局 712-713. 1986
- 2) 下家 由起子：手ぬぐいと日本女性，山野研究紀要 13, 33-40. 2005
- 3) 杉野公子：布を生かす・手ぬぐい：「おまけ」のライフサイクルを通して，杉野服飾大学紀要 6, 27-39. 2007
- 4) 戸谷君子：お出かけにも楽しくなる手ぬぐい帽子，現代農業 92(5), 312-315. 2013
- 5) 婦人之友 109(9), 100-1010 65. 手ぬぐい 1 枚でできる幼児のハーフパンツ. 2015
- 6) 孫珠熙，中嶋史央里：手ぬぐいで製作した人形浴衣の印象評価，日本家政学会第 70 回全国大会発表. 2018
- 7) 孫珠熙，表 奈緒：浴衣の評価条件がもたらす印象評価，富山大学人間発達科学部紀要. 2018
- 8) 小林茂雄，藤田雅夫，内田直子，孫珠熙，内藤章江. 装いの心理と行動：被服心理学へのいざない. アイ・ケイコーポレーション. 2017
- 9) 孫 珠熙. 浴衣の着装体験が温泉地域の活性化やファッションセラピーに及ぼす影響. 富山大学人間発達科学部紀要. 10(1), 145-159. 2015
- 10) 孫 珠熙，瀬戸翔平. 温泉浴衣の装い行動の構造と特性. 日本家政学会第 68 回大会研究発表要旨集. 58, 2016
- 11) Ju-hee SOHN, N.Kanayama, K.Kamachi, Differences in the Impressions Associated with Yukata Worn at Events and Those Worn at Hot Spring Resorts, and the Differences in Yukata Preferences based on Gender, IFHE2016 (国際家政学会大会) Daejeon Convention Center, Korea. 2016
- 12) 孫珠熙，中嶋史央里. 若者の和文化体験からみた温泉ゆかたの嗜好傾向. 富山大学人間発達科学部紀要. 11(3), 39-49. 2017
- 13) 孫珠熙. 富山県の若者における浴衣の装い行動－和文化体験の一助として－. 富山大学人間発達科学部紀要. 12(1) 95-107. 2017
- 14) 齋藤堯幸. 多次元尺度構成法. 1/21, 70/86, 188/209. 朝倉書店. 1980
- 15) 高根芳雄. 多次元尺度法，東京大学出版会. 1980
- 16) 孫珠熙. 構造方程式モデリング手法を用いた女子学生のファッション行動と購読女性雑誌の検討－2008 年～2010 年の傾向を中心に－. 家政誌. 64(3), 31-40. 2013
- 17) 孫珠熙，小野幸一. 女子学生のファッション意識と女性雑誌との関連. ファッションビジネス学会誌. 15(3), 67-78. 2010
- 18) 豊田秀樹，拜殿怜奈，久保沙織，池原一哉，磯部友莉恵. 無制限複数選択形式の分割表データに対する因子分析. 心理学研究. 86(6), 535-544. 2016

(和 文 要 旨)

本研究は「手ぬぐい」サイズの人形浴衣を提示し、嗜好傾向を分析することであった。試料は「手ぬぐい」で製作した人形浴衣 18 種である。標本数は大学生女子 245 名，男子 101 名で計 346 名である。

分析には，IBM SPSS23.0J とテキストマイニングソフトを使った。その結果，人形浴衣の印象は「かわいい (45.1%)」，「きれい (12.4%)」，「柄 (11.6%)」，「色 (10.1%)」であった。「かわいい」の回答は女子だけで見れば 54.3%であった。全体的にポジティブな意見や浴衣を着たくなったという意見が多かった。また，人形浴衣を類型化した。さらに，女子の好みの人形浴衣を可視化した。人形浴衣の嗜好傾向は，男女による違いがみられた。

(2018 年 5 月 21 日受付)

(2018 年 7 月 19 日受理)